『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作 成 日:<u>令和5年4月10日</u>

事業所名: little nico

		現在の取組内容・今後の改善目標(内容)
	①支援内容にあった指導訓練	相談室は個室で配慮されていて、しっかりと落ち着いた
	室・相談スペース等の確保	環境で保護者面談ができるようになっています。
	②職員の専門性・配置数	管理者兼児童発達支援管理責任者 1 名
	あい・さかいサポートリーダ	保育士 4 名
	一の配置の有無	児童指導員1名
		その他従業者1名。現在アイサポートリーダーの配置は
1		ありません。
環	③送迎体制・添乗員の確保	可能な限り添乗員の配置はしていますが、常に添乗員 を
境 •		確保する事は難しいです。
体 制 整 備		ドライブレコーダー、バックモニターを全車両に装備し
整		ています。
1)用	④合理的配慮の視点に基づく	感染症の拡大防止に壁、玩具、児童が触れる物品全てに
	環境整備	ioneair を施工し菌の繁殖や感染を抑える環境を整えて
		います。
		絵カードや個人専用の視覚支援グッツを用意していま
		す。
	⑤職員の健康診断の実施	年に1回常勤、非常勤ともに全員受けています。
	①アンケート等による利用	定期的に保護者交流会を行い、ニーズ把握に努めていま
	児・保護者のニーズの把握と	す。
	フィードバック	
	②職員の支援技術の向上・虐	市の研修や外部研修には必ず参加し、事業所内会議にて
2	待防止等の研修	全スタッフに周知できるように努力しています。 虐待や
業	(障害児通所支援事業者育成	人権研修は定期的に所内で行い、スタッフの支援の質を
業務改善	事業利用の有無)	向上しています。
善善	③虐待防止等のための責任者	事業所に 1名責任者を配置しています。
	を設置	
	④利用児、保護者からの苦情	相談や質問、苦情があった際 は、すばやく全職員に周
	や意見への対応及び事業運営	知、報告し、検討と現状確認をしたうえで保護者に解決
	への反映	策や対応をお伝えします。

	よる児童発達支援計画の作成(アセスメント・利用児及び	け、しっかりと成長の段階、普段の様子(家、こども 園、デイ)、を聞き取り、保護者と管理者の情報共有を行
	保護者の意向確認・計画案の	います。支援内容や保護者のニーズ、子ども自身のニー
	作成・会議開催・計画の保護	 ズ調査も行い、児童発達支援でできる支援内容を検討し
	者への説明及び交付)	 個別支援会議後、保護者へ説明し捺印してもらいます。
	②モニタリングの実施、計画	全スタッフで行なう事業所内会議にて、モニタリング月
3	の見直し	の児童の現状と支援評価を話し合い、次回の目標を立て
適	i	ています。
切な支援	③個別の課題に対応した活動	個人目標に合わせ、個別対応ができるように配慮してい
支	内容・プログラム	ますが、集団行動と集団での活動が多いので、今後はも
の提供) !	っと個別に丁寧に対応ができる時間を配慮していきたい
従		と思います。
	④ミーティング等の実施	朝礼、終礼での 1 日の生活の流れ確認や出欠確認、前
		日の保護者対応や連絡帳での申し送りの情報共有を毎日
		行います。
		毎月事業所内会議を開催。
		毎月法人内での幹部者会議も開催
	⑤支援内容の記録	業務日誌、個別支援日誌、必要に応じて日案等の記録を
		残し、的確に支援が出来るように毎日の記録に 【ねら
		い】をたてて記録しています。
	①サービス担当者会議への参	支援に気になる事や子ども園と情報共有が必要な場合は
	加(障害児相談支援事業所と	こちらから園に連絡し会議を行ないます。 園に出向いた
	の連携)	際には、日々の様子や課題についても話し合い、支援の
4		擦り合わせが出来るように努めています。
I H-	││②認定こども園・幼稚園・保	もず園の見学会は参加し、支援の行い方を参考に支援グ
関 係		
関係機関	育園、保健センター等との連	ッツ等の取り入れ方も学んでいます。
機関と		園のお迎え時は担任の先生と1日の様子や体調の変化は
機関との	育園、保健センター等との連 	園のお迎え時は担任の先生と1日の様子や体調の変化は ないか細かく確認し受け渡しをしています。
機関と	育園、保健センター等との連携 携 ③他の児童発達支援事業所、	園のお迎え時は担任の先生と1日の様子や体調の変化はないか細かく確認し受け渡しをしています。 なかなか他の児童発達支援に見学にいく事や、様子を伺
機関との	意 育園、保健センター等との連携 携 ③他の児童発達支援事業所、 児童発達支援センター、障害	園のお迎え時は担任の先生と1日の様子や体調の変化はないか細かく確認し受け渡しをしています。 なかなか他の児童発達支援に見学にいく事や、様子を伺う事ができていないので、今後の課題として連携の取り
機関との	育園、保健センター等との連携 携 ③他の児童発達支援事業所、	園のお迎え時は担任の先生と1日の様子や体調の変化はないか細かく確認し受け渡しをしています。 なかなか他の児童発達支援に見学にいく事や、様子を伺

	6 di = +u :	,,
	④(特に医療的ケアを必要と	現在医療的ケア児受け入れ不可です。
	する利用児について)主治医	事業所の協力医療機関は福島小児科です。 急な受診が必
	や協力医療機関等との連携・	要な際はこちらに受診し、保護者連絡を行います。
	連絡体制	アレルギー児や癲癇発作の対応は個別に聞き取り対応 し
		ています。
	⑤就学する際の移行支援(学	必要に応じて担当者会議を行います。 また、保護者の方
	 校との引継ぎ・情報共有等)	 と就学前に面談を行い、就学先の情報共有を行っていま
		す。
	⑥「あい・ふぁいる」の活用	活用できていません。
	①事業所で実施している支援	パラバルーンや大縄跳びなどの集団戸外活動や、キッズ
	(支援内容、プログラムなど	ヨガ、ダンスなどの室内レクリエーション、季節の製作
	を記載してください。)	や絵画も毎月取り入れています。行事ごとにもイベント
		 デイを設け行事に親しみが持てるようにしています。ま
		 た、ソーシャルスキルトレーニングや交通ルール、性教
		育を学ぶ活動も定期的に取り入れています。
		見学や体験時にも伝えますが、契約時にしっかり丁寧に
	者負担の説明	説明し、質問をお伺いします。全て理解し、納得してい
	日見にの肌切	ただいたうえで契約に進みます。
		たたいたうんで矢がいて座がなす。
	③保護者からの相談への適切	必要に応じて保護者面談を行い育児相談を受け付けてい
	な対応、必要な助言 	ます。内容に応じて管理者とスタッフを選別し、適切に
		助言や気持ちの理解ができるように努めています。
_		
5	④会報の発行等による活動内	3 ヶ月に1度おたよりの配布と、毎日のSNSとホーム
保護	容や行事予定等の定期的な発	ペ 一ジでの様子を発信しています。また、毎月活動カレ
保護者へ	信	ンダーを配布し、行事予定を伝えています。
	⑤日々の支援内容、利用児の	連絡帳にて様子をお伝えしています。 必要に応じて口頭
説明	様子、おやつ等の保護者への	でも伝えています。
の説明責任等	報告	
仕 等		
	 ⑥おやつ代等実費徴収してい	おやつ代等の徴収はなしです。
	る費用に係る領収書の発行、	00 (21V TV) PX TX 10'0 (C 7 0
1	精算報 告	

	T	
	⑦身体拘束を行う場合の決定	身体拘束が必要な児童は現在おりません。
	手順、利用児・保護者への説	
	明、計画への記載	
		│ │ 利用児の個人ファイルは鍵付きの書庫に保管し鍵は管理
		者が管理しています。
		石が自座しているり。
	①緊急時対応マニュアル、防	各マニュアルは整備し、事業所内研修にてそれぞれ読み
	犯マニュアル、感染症対応マ	合わせや、意見交換、共通認識を行なっています。
	ニュアル等の整備と職員、保	
	 護者への周知	
	②非常災害の計画策定、避	毎月1回程度、火災、地震の訓練を行なっています。実
	│ │難・救出・その他必要な訓練	 際の避難場所にも歩く練習を積み重ね、速やかに非難が
	の実施	できるように取り組んでいます。 年に1度は消防士立会
		いのもと火災避難訓練を行います。
6		
∃E	③ヒヤリハット、事故の事案	その都度すぐに記録し事業所内会議で全スタッフ周知し
常	を収集し再発防止等について	対応と対策を検討しています。
非常時の	事業所内において共有	
対		
応	│ ④サービス提供中の事故を防	
	くための取組等	に環境構成の安全点検を行っています。
	- 1 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	
		また児童の玄関飛び出しを防ぐために3重ロックで指紋
		認証システムを導入しています。
		定期的な手洗い、うがい、消毒の徹底や密にならない様
		 に利用児の過ごす部屋を分け少人数にするなどしていま
		す。また、全利用児にマスクの着用を促しています。
		っ。 みた、エがのかに、ハノの自用と促しているす。
	① 地域との交流	まだまだ地域との関わりが薄く、交流は課題となってい
7		ます。
その		
の他		